

中央情報通信

発行日 毎月15日

大日本生産党機関紙

第1390号 令和4年6月15日

6 月 号

露宇戦争は中共の野望から始まった	本紙編集部.....	1
韓国社会が揺れている些細な理由		3
読者投稿 石原慎太郎の本音と三島由紀夫の「英霊の聲」		4
地球は太陽によって生かされている		4
北朝鮮が持つミサイルや核兵器の意味は?		5
種苗法を云々する前に…		6

本 社 〒847-0871 佐賀県唐津市東大島町 19-5
電話 090-3199-8446 no.shin.7771008@gmail.com
賛助購読料 年額 3,000円 (年10回発行)
ホームページ [http:// 大日本生産党.com/](http://大日本生産党.com/)

発 行 所
中 央 情 報 通 信 社
編集長／谷 田 透

露宇戦争は中共の野望から始まった

本紙編集部

露宇戦争は第三次世界大戦に発展するのを阻止したい欧米が、ウクライナに適度の武器弾薬を供給し、ロシアとウクライナの間だけで戦闘が長期化して疲弊するよう、事が運ばれている。ロシアが悪いとかウクライナが悪い云々だけに戦争責任の議論を集中させてはならない。

欧米もロシアもウクライナも、肝心なポイントについて言明していないが、実は最大の責任は中共の野望と冒険主義、そしてウクライナ前政権が中国資金をアテにして道を踏み外したことに在る。

■ウクライナの裏切り

ウクライナは貧しい国である。国土は広いが多民族国家で、ソ連の援助で成り立っていた時代が長い。ソ連黒海艦隊の母港を持つため、軍需工場だけは多く作られていた。

ソ連が解体され、独立国になったから自前で稼ぐしなくなり、旧ソ連から約束付きで所有権が移されていた廃棄物や軍事技術なども売り飛ばすことになった。

そんな折り、中共では習近平が

「二帯一路」の欧州路線を確定するために、どうしてもウクライナを拠点として握っておく必要が出てきた時、戦術的に「親ロシア」を中共の建前として看板にし、親露派のウクライナ大統領ヤヌコビッチに急接近したのである。

ヤヌコビッチは中共が求めるまま、ソ連から重要軍事廃棄物として預かっていた旧式空母のワリヤークを中共に売り飛ばし、ロシア政権を納得させるために表向きは「中国人ビジネスマンが世界初の空母ホテルを作る。空母の中はカジノにする」というニセ計画書をモスクワに見せている。ウクライナの軍需技術者にワ

リヤークを戦闘艦として改造できるように図面を作成させ、その図面は空母の現物とは別便で北京に届けさせた。

中共海軍は、天津と上海の造船所を改造して空母の母港化する。当初のニセ計画「空母ホテル」は海南省南部リゾート地に停泊することなく、一気に戦闘艦として改造が始まった。これに神経を尖らせたのがプーチンだった。

中共は慌ててロシアに、在日米軍と在韓米軍を威嚇する必要がある、台湾を領土化し南シナ海も手に入れる為だと説明した。プーチンは納得していなかったが、

貧困国に転落寸前のロシアは、条件を付けて中共を懐柔して金を巻き上げてやろうという野心を隠して、中宇の不義密通を黙認したのである。

それからは、ウクライナから中共にミサイル技術、ホバークラフトなどが立て続けに輸出され、中国マネーに活路を見出すウクライナ政権は徐々に軌道修正が出来なくなった。

二〇一三年には中国とウクライナの核協力に関する協定が締結され、その流れで中共の新彊開発集団公司を看板にしたウクライナ侵略が始まった。東ウクライナの広大な穀物地帯の永久的借用が契約され、続いてロシア黒海艦隊の母港であるセバストポリに隣接するクリミア半島南部の港湾建設を許可し、永久的に中共が利用できることと定めた。これを受けて習近平は、黒海穀物輸送船団構想を目論んだ。ウクライナの穀物をクリミア半島から積み出して世界中に売りまくるのだ。その輸送船団には中共海軍の護衛艦隊を張り付けるので、クリミア半島に海軍基地を作る…と言い出す始末だ。



プーチンは頭から火を噴いて怒ったそうだが、ウクライナも中国も友好国なので必要以上の波風は立てられず、クリミア半島に定住しているロシア人とタタール人による「住民投票」で独立させようと考えた。

これに驚いたのはウクライナ国民で、ヤヌコビッチ政権はロシアと中共の傀儡だと批判され、「マイダン公園反政府集会」で火が点いた国民が騒ぎ、遂に政権は倒れた。この反政府運動を裏から支援したのが欧米の情報筋だったので、プーチンは引き返せぬ戦争への道に突入することになってしまった。ウクライナから追放された中共関係者が七、〇〇〇人以上いたことは、如何にヤヌコビッチ政権がロシアを騙していたかの証明にもなった。彼らはプーチンを裏切っても、中国マネーが欲しかったのである。

■「北極同盟」の分裂が更なる戦争を生む

北極同盟とは、北極海を有する八カ国によってルールを決めているもので、ロシア、カナダ、アメリカ、ノルウェー、スウェーデン、アイスランド、グリーンランド、フィンランドから成るものだ。空路も航路も、この八カ国の了解が無ければ北極の利用は出来ないことになっている。

ところが中共は、事もあるうに上海を母港とする「新欧州航路」は北極海を通過すると発表したのである。そして「中国はロシアの後押しを受けて北極同盟に加盟するだろう」という勝手な予測も発表した。プーチンは裏切ったのか！と七カ国は騒ぎ、プーチンは「そんな約束はしていない」と火消しに回る羽目になった。習近平はプーチンに「北極の水が全部溶けてしまっただけの話ですよ」と苦しい言い訳をした。

ヤヌコビッチの裏切りを受けてプーチンは疑心暗鬼になり、習近平も必ず裏切

ると確信してはいるが、明確な根拠が出るまでは中国マネーが必要なので、表面上の対立は今のところ無さそうだ。

近年では北極の水が溶け出しており、氷の下に張り付いて移動しているロシア潜水艦隊は人工衛星から丸見えになっている。そこに、ロシア以外の七カ国がNATOを支持することになり、ロシアは内陸部のミサイル基地を北極海沿岸へ移動させる動きを見せ始めた。北極海の支配者はロシアだと主張する動きを見せ、その為にミサイルで恫喝するというのは明らかなルール違反だが、北極海を封じられたロシアには軍事的な敗北しか残っていない。

習近平は調子に乗って、ロシアを排除して北極同盟のメンバー入り出来る可能性を各国に打診し始めた。無論笑い飛ばされて終わりだったが、この習近平の厚顔無恥にはもはやプーチンは怒りが抑えられなくなっている。



この北極海航路については我が国でも、中共のセールスによって儲かる話と考える連中が、鳥取県境港と新潟港を上海フェリーの拠点にして、そこから韓国の釜山や北朝鮮の元山、ロシア極東のウラジオに行けるようにしようなどと宣伝していた時期があった。絵に描いた餅ほど美味しく見えるものだ。

■中共は逃げられるか

習近平は裸の王様だと言われているが、「王様は裸だ」と言っているのは外国人ばかりである。中国人が「王様は裸でも何でも、俺たちには関係ない」と考えているので騒ぎにはならない。人権無視で強圧政治だから何も言えないと言っている良心的中国人など一割もない。長老政治が伝統の中共でも、年金を増額し利権倍増を保証してくれるのが習近平なので、江沢民でも朱鎔基でも財布に向かって文

句は言わない。

中共はプーチンが疑心暗鬼になっていることに神経質になっており、最近では「フルシチョフはウクライナ人だったからクリミア半島を切り分けた。ブレジネフもウクライナで働いていたから人脈が縛られていた。ウクライナを代表する人物は、スターリンの天敵だったトロツキーである」などと論説、プーチンの主張する強くて統一されたロシアはウクライナ人によって邪魔されてきたのだと嘯く。ロシアの政権内部にウクライナ人脈が存在していると思わせるような話を振りまき、プーチンの疑心暗鬼が中共に向かないよう工作しているわけだ。

ロシア製の新型兵器を発注しても、最初の納入分を解体してコピーを作成し、残りの契約している納入分をキャンセルすることで何度も泣かされているプーチンとしては、中国マネーは吸い上げたいが、それが無理なら力づくで奪い取っても良いと考えるようになっていくそうだ。プーチンはパーキンソン病が悪化して引退せざるを得なくなる前に、習近平及び中共に対してはケジメをつけておきたい腹づもりだろう。ウクライナ戦争で破壊

韓国社会が揺れている些細な理由

尹錫悦（ユンソグヨル）大統領が就任直後、韓国社会で一般的な「数え年」を廃止して満年齢にしてはどうかと言い出したことが波紋を呼んでいる。

韓国では儒教社会が続いていたので、特に男性の年齢は数え年で表わすことが一般的だった。海外と交流のある人や若者世代は、国際的な常識に合わせて満年齢で表現するが、韓国人同士では相手が年上だったら敬語を使わねばならない。社交辞令の中で相手の年齢を確認するために「私は一九××年の生まれですが、貴方は何年ですか？」という尋ね方をするようになっている。そうすれば、満年

した都市再生に必要な費用を、欧米が凍結しているロシア関係の口座から出すことが申し合わされているので、プーチンとしては穴埋めは中国マネーでまかなおうと考えてもおかしくない。

韓国大統領に尹錫悦（ユンソグヨル）が当選したことによって、在韓米軍に反対運動は起こる心配が無くなり、日米韓の安保条約が統合機能することが確実となった。つまり、台湾防衛はその三カ国の安保が働くのである。習近平がいくら「中共の悲願」と叫んでも、台湾を略奪することは不可能になっている。

ウクライナ戦争によって、世界の新しい価値観が生まれ始めている。ロシアと中共は「世界の敵」という扱いになった。これが自然な流れで「新冷戦」に向かって欲しい習近平は、硬軟両面の外交工作を急ぎ始めている。だが世界は、中国が共産党国家から共和制国家に変わっても特に気にしない。中共が野望むき出しで冒険した外交政策が、ブーメランとなって中共自身を叩き苦しめ自縄自縛するので。

ロシアも中共もウクライナも、やがて身から出た錆で苦難に陥るかも知れない。

年齢や数え年といった気苦労が無くなるからだ。

これに慌てているのが中年以上のサラリーマンたちだ。彼らは実際の年齢より何歳か下駄をはいて（少し年上に）自己紹介するのが普通なので、ここで一気に満年齢に直されてしまうと「あの野郎、本当は俺より年下だったのか」という、思わぬトラブルが降り掛かって来るかもしれないというわけだ。

尹大統領が今後「ルックアメリカ政策」を緩やかに推進する方向だと誰もが気づいているので「数え年廃止」が信憑性を高めつつあると話題になっている。

石原慎太郎の本音と、三島由紀夫の「英霊の聲」

作家の木下英治が「石原慎太郎伝」の中で書いているそうだが、木下が平成十一年に石原慎太郎に取材した時、石原は「日本人が責任を取らなくなった原因」について話し始め、それは「昭和二十年八月十五日に天皇陛下が割腹されなかったからだ」と聞かされたという。

これは賛否両論を生む話だが、帝国憲法下で国家と国民に対して最高の責任を有するのは天皇陛下であるとすれば、敗戦の責任を取って割腹することにはどれほどの意味と意義があると石原は考えていたのだろうか。我々は戦後GHQによって矢継ぎ早に洗脳教育を施されてしまい、善悪を論じないままあれよあれよと保守政権に受け継がれて現在に至ってしまった。先の戦争を指導する立場に在って潔く割腹した人、死なずに法廷に立たされた人たちを含め、国民として冷静に責任を判断する機会を失ってしまったように思う。



ると、石原が「天皇陛下は割腹するべきだった」と言うのは、三島由紀夫が「英霊の聲」の中に描いた青年将校たちの会話と軌を一にする考え方だったのではないだろうか。

「英霊の聲」では、死者の霊を呼び出すと急に嵐になるほど強い恨みを持った霊が降りてきて「我々にとって天皇陛下は神であった。その神の為に命を捧げた。それなのに敗戦して神は人になってしまった」と、怨みの為に成仏もできず、今も天皇陛下を恨んでいる。世の中は乱れて、日本人は腐敗堕落し、明るい未来は見えない。それなのに「神は人になってしまった」と訴える。

おそらくこの英霊の聲は、三島由紀夫そのものの声であらう。つまり、三島と石原は同じ思いを心の底に秘めていたと思われる。民主主義がどれほど正しいのか、自由競争社会がどれほど良いのか、日本に責任を持つのは誰なのか：そんな割り切れない思いがあったのだろう。

木下英治の取材時に石原慎太郎が語った言葉の真意は不明だが、これが生前に公表されていたら石原の評価はどのように変わったのだろうか。石原自身、割腹する道は選ばなかっただろう。また三島が現在まで長生きしていたとすれば、「英霊の聲」について心変わりがあるのかどうか。

知りたくもあり、また知りたくも無し
(文中敬称略)

地球は太陽によって生かされている

ビッグイシュー四三一号の特集によれば、地球上の全てのエネルギーの九九・

九七％は太陽から頂いているそう。それでも、そのエネルギーは太陽が放出す

る全エネルギーの二〇億分の一に過ぎないという。太陽の中心では核融合が起こり、水素が一五〇〇万度の高温まで圧縮され、それがヘリウムに変化する際にエネルギーが放出されるとか。

太陽はガスの塊だと言われているが、これは物質には固体・液体・気体、その次の形態であるプラズマ（電離ガス）があるが、太陽はプラズマで出来ていることを指している。プラズマ状態の物質が、差動回転と対流によって電流を発生させ、その周囲に磁場を発生させている。磁力線が集まれば黒点になり、それは巨大な磁石になるので周囲にフレアという爆発を起こす。そのフレアが起こった八分後、地球には大量のX線が到達する。

これによって地球上層の大気が大きく乱れ、GPSも通信も電波も乱れることになる。

また、コロナ質量放出が起これば、地球の磁場が変化して電磁誘導が起こる。



そうなれば地表にも海中にも異常電流が流れ、送電線やパイプラインは故障する。時代はコンピュータネットワークとAIを抜きにして成り立たなくなってきたが、太陽フレアとコロナの異常放出によって、瞬時に無力化する。最新科学も太陽の前では、子どもが砂浜にお城を作っているのと同じことだ。

大きな波が来れば、あつという間に消えて無くなる。

それほど凄まじいエネルギーを持つ太陽があればこそ、我々人類も生意気な顔をして地球で生きて行けるのだ。人類だけが尊い訳でも、神や仏がいれば太陽など無くても良い訳でも無い。我々は太陽に生かされているのである。これは努力とは無縁の、完全に受け身に基づくものである。無用の努力、無駄な争い、無意味な優劣などを超えて、地球は太陽の自分勝手のままに生かされていることを、たまには思い起こしたいものだ。

北朝鮮が持つミサイルや核兵器の意味は？

北朝鮮では軍事は五ヶ年計画で動いているのだが、実際の戦争では役に立つものではないと理解した上で分析する方が良いと思う。

北朝鮮の継戦能力は、朝鮮戦争再開として米軍が参戦すると、約二日でミサイルも弾薬も底をつくことは世界中の軍事関係者の知るところだ。韓国と戦争再開するのなら、昔と同様に中国解放軍義勇隊が武器と弾薬を山ほど積んで五万人以上参戦しなければ戦えない。ひと昔前の金正日時代なら、まだ中国もロシアも武器供与と義勇軍派遣を引き受けてくれたかもしれないが、今では中露とも欧米相手に北朝鮮を使って冒険するつもりなど欠片もない。

北朝鮮軍の頭が狂えば別だが、普通の

状態なら日本にミサイルを撃つはずがない。水面下では、日米の軍事産業が北の頭領にお願いしてミサイルを撃つ角度を修正して、防空軍備が導入しやすくしているのだと、事情通の間では言われている。それを日米韓の三ヶ国で足並揃えて「北朝鮮がミサイルを発射した」「核実験を計画中」と騒ぎ立てるのは、北の頭領に対する返礼の一環で、「北朝鮮は日米韓を相手に互角の軍事力を持つ」というヨイシヨをしているというのだ。

北朝鮮の国内向け宣伝として、日米韓の三ヶ国が震え上がっていると言えは溜飲が下がるしプライドも保てる。今までは、その結果を見て中国から大量の物資が補給された。

今月の月刊日本にも月刊レコンキスタ

にも、北朝鮮在住赤軍派・小西隆博の記事が掲載されているが、小西が北の頭領の思惑から外れた記事を日本へ送るはずもなく、記事の内容は北朝鮮世論に大きく配慮したものと推察できる。記事では、ウクライナ戦争はロシアは悪くない、アメリカが胴元になってNATOの東方侵略を推進させたから戦争が始まったと分析して見せ、アメリカがロシアと中国との冷戦を構築したと断定する。そして、西のウクライナ問題は東の日本問題に繋がっている」と警鐘を鳴らしている。この流れは、安物のマスコミ社説と同じだが、それを小西が書いて日本へ送ったことが

種苗法を云々する前に……

昨年は種苗法の改正に当たって世間が騒がしかった。やれアメリカの巨大種苗会社の思惑でバイオ種子に日本が支配されるとか、種苗の特許問題で日本農業は危機的状況になるといった話が、実は「狼が来るぞ」というかけ声に過ぎなかったと、今気づき始めた。

話の最初には、日本政府の怠慢によって、今までは新種の種苗に国際的標準特許を出していなかったお粗末さがあったようだ。国内だけで新種を守ろうとする近視眼的な政府の農業政策が、世界からは馬鹿正直な田舎者扱いだったのである。



どと文句を言っているから笑い者なのだ。国際政治力の無い農協は保守的な内向き志向なので、反米の左翼や右翼が「種苗法改正はアメリカの陰謀だ」と騒ぐ論説に乗っている。そもそもは日本政府の農業政策の不備や国際常識が理解できない人たちの手拔かりが原因なのである。

美味しいイチゴの「紅ほっぺ」は、韓国で日本の五倍も生産されている。数年前に法整備される前から動いていた話だから、今頃になって文句を言うのは筋違いだ。文句を言えば言うほど日本政府の値打ちが下がる。

先々を考える政府、先手が打てる政府、リカバリーショットが出来る政府を我々は期待している。

「引かれ者の小唄」という言葉がある。罪人が市中引き回しされて今から磔にされるのに、馬上で小唄を歌って粹がっている様を表わしている。関西では格好悪い見本として使われる言葉だ。今の日本政府は「引かれ者の小唄」である。我々も一緒になって小唄を歌わされるような不細工な政治はご免こうむりたい。

日本が最近「シャインマスカット」に関して中国に抗議したが、日本から中国に輸出したシャインマスカットの種を栽培してはならないという法律も条約も国際特許申請も無かったのである。中国は安心してシャインマスカットを栽培し、今では日本国内の三十倍の耕地面積で東南アジアや中東の金持ち相手に商売している。我が国政府は、自分たちの手ばかりを棚に上げて、中国政府は信義に悖るな

重要なのだ。

北朝鮮は小西を使って、日本の右翼やロートル左翼に「アメリカと組んでいたら後が怖いぞ、ロシアや中国と冷戦状態を続けて日本にプラスはあるのか?」とシグナルを送っているのだ。日本政府は、一度上げた旗は変えられない。今更中立ぶらした旗を立てるなどは愚の骨頂だ。日本政府がフラフラしたら北朝鮮の謀略戦の勝利という訳だ。安易で低レベルの話を小西にさせる方も悪いが、それで我が国世論が動くと考えている北の宣伝工作部は脳味噌が化石になっているのかもしれない。